

平成26年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都立公園等）

○ 都市部の公園・東部グループ（指定管理者：アメニス東部地区グループ 指定期間：平成23年4月～平成28年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
1	東白鬚公園	墨田区堤通二丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・常緑樹が繁茂した樹林地を明るい森にし、見通しを確保した「木々のビフォーアフター」の取組は公園の安全性・快適性の向上に寄与するものであり、評価できる。 ・地元区総合防災訓練への積極的参加や、訓練に伴う施設点検のほか、地元自治会と防災訓練を行うことにより関係機関との連携強化を図ったことは、公園の設置目的をよく理解した取組であり、評価できる。 ・Facebook等の媒体の利用により、公園の認知度及び好感度が向上している。 ・夏と秋に「オフスクールパーク」を初めて実施し、その中で、地元中学校をはじめとした近隣住民との関係が構築できたことは、都民協働としての効果大きい。 ・「鯉のぼりフェア」をはじめ、各種イベントを企画し、積極的にPRすることで、来園者数の増加につなげている点は、評価できる。 ・「マトイ通信」やSNS活用の広報など運営面での試みは評価でき、今後の更なる展開に期待する。
2	猿江恩賜公園	江東区住吉二丁目、毛利二丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・不法駐輪対策が成果を上げたことは高く評価できる。こうした管理課題は多くの公園で共通した課題であるので、成果を発表するなどの情報共有を期待する。 ・「木々のビフォーアフター」等により、公園景観の改善が図られた。 ・森のギャラリー、自然観察会など公園の利用の拡大に取り組んだ。 ・キッチンカーについては、利用者のニーズを踏まえた継続運営が望まれる。 ・徳川幕府時代の貯木場、木蔵の面影を生かした恩賜公園のポテンシャルを背景に、新たな公園としての魅力付けを図ることを期待する。 ・雨水流入対策を行いリスク対応に優れる反面、夜間の暴雨等へのリスク対応が弱いなど、良い面と悪い面とが見られる。
3	亀戸中央公園	江東区亀戸八・九丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・児童コーナーの砂場点検など、児童の遊び場として利用の多い箇所での安全対策に対し細やかな配慮を行った。 ・樹木名の特定と樹名板の設置が引き続き進んでおり、計画の実施が適切になされている。 ・キッチンカーについては、利用者のニーズを踏まえた継続運営が望まれる。 ・貴重な公園の財産ともなるサザンカの魅力を生かした取組は好感が持てる。今後も別名「サザンカ公園」と言われるだけのメニュー開発を期待する。 ・公園の魅力を打ち出す都民協働事業・自主事業について、規模・回数面で取組強化の余地がある。
4	大島小松川公園	江東区大島九丁目、江戸川区小松川一丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・園路や柵周りの段差について早急な補修作業を行うなど、来園者の安全性確保に努めている。 ・犬のボランティアによる活動は参加者も増加しており、公園利用適正化につなげている。また、マナー教室や「マナーアップキャラバン」を実施し、飼い主のマナー啓発に寄与している。 ・クロムしん出対策では現場での対応等を着実に実行し、都への状況報告も含め安全対策に努めていることは大いに評価できる。 ・キッチンカー、バーベキュー食材提供などの新規取組については、利用者のニーズを踏まえた運営継続が望まれる。 ・江東区の広域避難場所としての位置付けを踏まえ、日頃から、有事の際の備えを十分に満たし、かつ利用者にとって親しみの持てる公園利用メニューの開発に期待したい。
5	尾久の原公園	荒川区東尾久七丁目、町屋五丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「東京で一番きれいな公園づくり」をテーマに毎日ベンチを水拭きするとともに、早朝巡回において利用指導を行った。 ・利用範囲に限られる中で、魅力の維持への努力が見られる。 ・「動物愛護フェスティバル」において、地元区報や鉄道を活用した効果的な広報に努めた。また、マナー問題を周知するためにペット撮影会を利用するなど、啓発に効果的な創意工夫が見受けられた。 ・とんぼの生息地であることは大いなる魅力なので、維持・保全に留まらず、新たな公園利用メニューの創出を望む。

6	汐入公園	荒川区南千住八丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・かねてより苦情、要望の多かった多目的広場の砂塵対策として、塩化カルシウムの散布を適切に実施したことにより、砂塵の飛散が抑止された。 ・「川の手荒川祭」の開催に当たり、会場管理者として適切に対応したことは評価できる。 ・ハーパーボランティアの増加等、都民協働による公園利用を進めている。 ・隅田川に隣接する公園であるため、親水性のあるにぎわいが期待できる。その点も踏まえ、イベント、オリジナルプログラム等の魅力開発に尽力されたい。
7	東綾瀬公園	足立区東綾瀬一・二・三丁目、綾瀬三・五・六丁目、谷中一丁目	S	<ul style="list-style-type: none"> ・点在する広場を延長2kmに渡る遊歩道でつないだ特徴的な形状の本公園において、剪定等の主たる作業の実施時に除草やゴミ拾い等、他の管理作業も併せて行うことで、良好な管理が保たれている。 ・雨の日巡回、桜の一斉調査など、利用者の視点に立った管理姿勢は高く評価できる。 ・公道への自転車飛出事故に際し、事故後迅速に安全管理に努めるとともに、出入口の緊急調査など事故の予防に尽力した。 ・「東綾瀬新聞」の配布部数を増やすとともに、地元区の事務所・図書館・自治会等新規の配布先を開拓するなど、広報活動に対する創意工夫が見られた。 ・「1日ボランティア」の企画など、都民協働に新しい形を示したことは評価できる。 ・花による美化活動をはじめ、花づくりが防犯にも有効であることに着目した取組は評価できる。 ・地元町会やボランティアと連携した防犯活動等、地域のコミュニティづくりの核としての公園運営を評価する。
8	中川公園	足立区中川五丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・四阿の残置荷物撤去、路上生活者滞留箇所の定期的な清掃等、懸案事項である常駐者対策に尽力し公園の快適な利用に努めていることは評価できる。オリンピックに向けて、路上生活者対策はますます強化されると想定されるので、今後の更なる対応に期待する。 ・モミジ、バラの手入れなどが行われたが、公園の景観向上のため、更なる取組を望む。 ・下水処理場と共存するユニークな公園としての認知度をさらに高めるため、その機能説明の恒常化を目指すよう取り組まされたい。
9	宇喜田公園	江戸川区北葛西三丁目、宇喜田町	A	<ul style="list-style-type: none"> ・来園者の要望に対し、木製バリアード看板を作成し設置した対応の迅速さは評価できる。 ・マナーアップについて、関係機関との連携、定時外巡回、啓発チラシの配布など、工夫がされている。 ・園内にサービスセンターがない状況にあっても、利用者要望に対して適切な対応を行い、支障なく管理することができている。 ・「ドングリと草笛イベント」に多くの親子連れが参加した。園内植物を用いた工作により、学びながら公園に親しむことのできる機会を提供した。 ・防災公園としての位置づけを踏まえつつ、四季の花に囲まれた魅力ある公園のメニューを開発することを望む。
グループ全般				<ul style="list-style-type: none"> ・公園施設及び樹木等の状況を公園点検表として取りまとめ、課題の共有化を図ることにより、効率的に維持管理を行った。 ・「木々のピフォーアフター」による明るい公園づくりの取組は、安全確保・公園内の環境向上の観点から評価できる。 ・東部9公園のWEBサイトは見やすく、新しい情報も多く含まれており、良い出来栄である。 ・地元の人たちとの交流を大切にしながら、地道に公園管理を行っている点に好感が持てる。 ・今後、公園を核とした地域文化の育成・創造とコミュニティ拡大へ向けたパークマネジメントを進めるための継続的努力に期待したい。 ・9公園合同スタンプラリー、情報誌の発行の取組とともに、各公園周辺の公園緑地やレクリエーション施設、文化施設など様々な資源との共同の取組への工夫が望まれる。 ・各公園の魅力の向上に、適切な防災対応が加わり、バランスの良い公園管理がなされている。地域の防犯力の向上に対しても、さらなる明確な対応も考慮されたい。

平成26年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都立公園等）

○ 都市部の公園・南部グループ（指定管理者：公益財団法人東京都公園協会 指定期間：平成23年4月～平成28年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
10	日比谷公園	千代田区日比谷公園	S	<ul style="list-style-type: none"> ・巡回時の園内滞留者への継続的な声掛け等、粘り強い働きかけにより、定着化や範囲拡大を防ぎ、テント数の削減に寄与した。 ・近隣で開催される大規模デモ対応の巡回確認等を積極的に行い、園内の混乱を未然に防いだ。 ・大雪による被害が生じた日比谷通り沿いのクスノキについて、間伐や枝落とし等を行い、安全性の確保及び樹木の健全育成を図った。 ・心字池のマツに雪吊や霜よけ飾りを行った。樹木管理の伝統技能の伝承を図るだけでなく、冬の景観を演出することで報道等に取り上げられ多くの関心を集めた。 ・都心部に位置する公園として、防災等の面で地域企業との良好な連携を図ることに留意し、成果を上げている。海外からの来園者への対応にも積極的な姿勢が認められる。 ・東京及び日本を代表する公園である日比谷において、2020年も見据えて、多様なプログラム、アクションをしていることは、大いに評価できる。今後、文化・芸術の拠点である土地柄を十分に生かしたセントラルパークとなるよう、期待する。 ・「多言語対応リーフレット」の常設配布は評価できる。今後は、再開発される周辺地域の街並みと呼応した「おもてなし」まちづくりの核となって観光の受け皿となることを期待する。 ・全国の都市公園の範となる管理運営水準を追い求めていく姿勢を保持することを期待する。
11	芝公園	港区芝公園一・二・三・四丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・技能継承も図れる近隣共同作業により、来園者の少ない冬季に支障枝や枯損枝、実生木等の除去を行い、歴史的価値を有する「銀世界」、「もみじ谷」等の景観向上及び来園者の安全に配慮した対策を行った。 ・ Deng 熱対策や雪害を受けた野球場ネット支柱の緊急補修など、施設管理の的確で柔軟な対応は評価できる。 ・地元小学校、ボランティア団体及び複数企業等と協働して花壇管理を行うことで、参加者に対しても地元の公園・緑への関心や理解を深めることができた。 ・歴史的資源の掘り起こしについて、周辺施設との連携により更に進め、ブランド力ある芝公園を目指していくことを期待する。
12	林試の森公園	目黒区下目黒五丁目、品川区小山台二丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・林業試験場時代の巨樹珍樹の森の維持管理等、光の入る明るい公園となるよう樹木剪定を効果的に行ったことは評価できる。 ・子どもの日にちなんだイベント「鯉のぼりワークショップ」について、初めてセカンドリースクールに呼びかけ、全長10メートルの白地の鯉のぼりに絵付をもらうことで、利用者層の拡大を図った。 ・近隣住民とのつながりを強める各種のイベントを積極的に開催している。その一方で、猫小屋対策など地道な取組も粘り強く行われている点が評価できる。 ・広報・PR活動にも更なる工夫が望まれる。
13	蘆花恒春園	世田谷区粕谷一丁目	S	<ul style="list-style-type: none"> ・技能継承も図れる近隣共同作業により、倒木や落枝の撤去作業を迅速に対応し、危険区域を早期に解放することができた。 ・「徳富蘆花をしのぶ集い」では例年の蘆花会との共催をさらに拡充し、縁のある他公共団体の参加も得られた。「かやぶきコンサート」や献花等ではボランティア団体とも協働するなど、各イベントを盛り立てることで公園の魅力を伝えた。 ・「花いっぱいイベント」で子供たちを対象とした親子いけばな教室を開催した。野外で園内の間伐材の竹を利用した花器を用いるなどの工夫を加え、伝統文化や花と緑に触れ合う機会を創出し、好評を得た。 ・歴史文化と子どもイベントの融合は公園利用の可能性を開く良い企画と高く評価できる。更なる公園利用メニューの発掘を期待する。

14	砧公園	世田谷区砧公園、大蔵一丁目、岡本一丁目	S	<ul style="list-style-type: none"> ・犬の連れ込みを規制するため、園路内への禁止区域の表示のほか、マナーアップ活動や早朝・夜間パトロール等警備強化、朝の園内放送等による注意指導等、不適正利用抑制に積極的に取り組んだ。その結果、来園者の利用マナーが向上し、苦情要望件数も減少した。 ・技能継承も図れる近隣共同作業により、公園入口部や主要園路の景観改善を行い、公園の景観が向上した。 ・園内の花の見どころを記載した「春の五感まっぷ」を作成し、園内配布のほかPDF形式でホームページ上からダウンロード可能にすることで利用者への利便性を図るとともに、本公園独自の魅力を発信した。 ・「バラを観る会」をボランティア団体と協働で開催した。開催日に合わせて開花調整することで満開状態にし、大勢の参加者を集めることができた。 ・雄大な芝生広場を売り物に多様なプログラムを作り、実践していることは、大いに評価できる。 ・「五感まっぷ」が作成されたが、楽しい遊び方、見どころなど、更に魅力を伝えるツールの開発に期待したい。
15	祖師谷公園	世田谷区上祖師谷三・四丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・技能継承も図れる近隣共同作業により、樹木間伐作業を精力的に行い、見通しを改善して、公園の安全確保を図った。 ・花壇ボランティアの協力による「クリスマスリース手作り教室」では、公園の発生材の利活用を図り、多くの地元の親子連れが参加した。さらに、見本のリースは近隣の福祉施設に寄贈するなど、地域に親しまれる公園の魅力を発信した。 ・環境学習や自然体験を通して地域のシンボルとなるよう期待する。 ・公園の知名度向上が望まれる。
16	青山公園	港区六本木七丁目、南青山一丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・路上生活者への粘り強い声掛けにより、就労希望の相談を受けたことから福祉施設の入所へ結び付け、テント数の削減につながった。 ・ Deng熱対策において、他園での症例報告を受け、排水溝等への薬剤散布や防虫スプレー貸出等の対策を講じた。また都と連携して排水溝一斉清掃等の緊急共同作業を迅速に行った。その後も来園者への注意喚起を園内各所へ掲示し、各種問合せにもマニュアルに基づく適切な対応を行った。 ・「オフィス街のオアシスづくり」という提案に基づき、快適性の確保、魅力の向上に一層取り組むことを期待する。
17	明治公園	新宿区霞ヶ丘町、渋谷区千駄ヶ谷一丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・巡回美化清掃及び粘り強い声掛けにより、路上生活者が自立支援施策の下退去し、テント数の削減につながった。また園内テーブルを占拠していた滞留者を福祉施設入所に結び付けた。 ・過密なイベントの占用調整をし、園内の安全確保、違法出店阻止に努めた結果、無事故や違法出店ゼロを達成し、トラブルなく終了させた。 ・園内に管理所がない中で、近隣でのイベント開催時に大きな混乱もなく適正に管理できていることは、評価に値する。 ・新国立競技場の建設が予定される中、公園の緑はきわめて重要な位置付けになると思われるので、良好な管理を望む。
グループ全般				<ul style="list-style-type: none"> ・公園の顔となる公園入口修景改善計画の作成と31か所の改善を行うなど、計画的な施設補修が進んでいる。 ・グループとしての強みを生かした近隣共同作業は、危険枝の除去、剪定等の管理業務の効率性を高めるとともに、公園の景観向上と安全確保、及び技能の向上と継承を図る上でも高く評価できる。 ・本グループの公園の持つ魅力は日本全国に発信されるべきものである。オリンピックを契機とした観光資源として海外にもアピールすべきものとして、管理運営の目標を高く維持することを期待する。 ・2020年の東京オリンピック・パラリンピックの会場となる公園、東京の文化・芸術の拠点になる公園を有しているため、そのポテンシャルを十分生かし、東京ブランド向上の一翼を担っていくことを望む。

平成26年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都立公園等）

○ 都市部の公園・北部グループ（指定管理者：公益財団法人東京都公園協会 指定期間：平成23年4月～平成28年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
18	戸山公園	新宿区戸山二・三丁目、大久保三丁目	S	<ul style="list-style-type: none"> ・きめ細かい巡回と声掛けにより、ホームレスの滞留者を減少させるとともに、公園の隣接地に起居するホームレスのテント撤去に協力し、公園の景観向上に貢献した。 ・園路状況の改善や看板の更新、樹木伐採等を住民の意見を反映させながら行い、明るく安全な公園づくりを積極的に行った。 ・「箱根山登頂キャンペーン」では、登頂証明のデザインにつじをあしらって箱根山らしさの演出を行ったほか、セルフガイドシートもより分かりやすくリニューアルするなど、公園の魅力向上に積極的に取り組んだ。 ・NPOと協力して行った「クリーンアップ作戦」において、学校やNPOの新規参加が増えていることは評価できる。 ・江戸時代からの庭園の面影を残し、山手線内で一番高い箱根山を擁するユニークな公園であるので、その魅力をきちんと具体的なプログラムにして、実施していることは評価したい。今後、外国人旅行者への利用対応にも、より一層考慮されたい。
19	善福寺公園	杉並区善福寺二・三丁目	S	<ul style="list-style-type: none"> ・モンククロシャチホコ駆除の取組において、美観に配慮した簡易で捕虫を妨げない遮蔽方法を考案して実施し、大きな成果を上げた。 ・樹勢が衰えた桜の枝をワイヤーで吊って保護するなど、きめ細かな樹木管理を行い、公園の景観の保持に努めている。また、ベンチ脇のキンランの保護に配慮した除草を行っていることは大いに評価できる。 ・公開樹木診断を行い、住民の納得を得ながら危険樹木の撤去を進める手法は、他の公園でも参考となり得る。 ・元々、湧水池としての風情が残り、貴重な生態系の残る場となっていることを生かした餌やり防止キャンペーンなどの一連の取組は評価できる。 ・季節ごとにテーマを設定して観察会を開催するとともに、ミニギャラリーにおいて主催展や外部団体による展示を複数回行った結果、入場者数が増加し、普及啓発に成果をあげた。 ・都がプロ野球球団から寄付を受けたキャッチボール専用球とグローブの活用について、検討要請に速やかに対応した。また、キックオフイベントに際してはプロ野球球団と協働して親子キャッチボール教室を開催した。 ・「善福寺公園探検隊」を教材としたイベントや環境教育への広がりは今後に期待できる。
20	浮間公園	板橋区舟渡二丁目、北区浮間二丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度に仮固定した浮島について、水中での調査や作業を行って元の位置に再固定したことは評価できる。 ・野鳥情報の充実、生き物看板の更新など、公園の自然資源についての情報提供が向上した。 ・施設の清潔さや広報PR活動にもう一步の努力が望まれる。 ・野鳥の生態を年間カレンダーにしたことは評価できる。それを活用した公園利用促進策の開発が望まれる。
21	赤塚公園	板橋区高島平三丁目、徳丸七・八丁目、四葉二丁目、大門、赤塚四・五・八丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地元町会やボランティアと協働して、公園をまたぐ橋脚の落書き消しを行うことで、公園の景観改善を図るとともに、地域との連携を強化した。 ・公園の歴史的自然的特徴を生かした管理がなされている。 ・ニリンソウを公園の顔にして広報の展開を図り、それを契機に様々なイベントにつなげていく手法は他の公園にも参考となり、大いに評価できる。 ・多彩なイベントを開催し公園の魅力を高めるとともに、ポスター掲示や他事業者主催のイベントでのブース設置等、積極的なPR活動を行っている。 ・丘の自然林、ニリンソウ、赤塚城址と良い資源を持っているので、より多くの方々に触れてもらえる公園利用メニューの開発に力を入れて欲しい。

22	石神井公園	練馬区石神井台一・二丁目、石神井町五丁目	S	<ul style="list-style-type: none"> ・「記念庭園を考える会」の方針に基づき、高木剪定や池島の実生木撤去等を行い、景観再生と安全確保を図った。庭園の歴史を紐解き、歴史・植生・生物多様性に配慮しながら維持管理と教育普及を行った。 ・苦情について真摯に検討し、簡易な補修で迅速に野球場利用環境の改善を果たした点は評価に値する。 ・歴史が残る石神井城跡、三宝寺池、石神井池含め、生態系豊かな公園である特徴を生かし、歴史ガイド、観察会、「記念庭園を考える会」等、多様なアクションを行っていることは、評価できる。 ・「歴史と自然豊かな空間」という本公園の魅力を歴史ガイドや観察会などを通して、広く普及していることは高く評価できる。 ・「記念庭園を考える会」をベースに、今後景観づくりやイベント等の支援組織に発展することを望む。
23	大泉中央公園	練馬区大泉学園町九丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技場を利用する各団体に対して、譲り合っでの使用を粘り強く指導して利用調整を行い、適正な利用につなげることができた。 ・「サンドアート」では職員が型枠を制作することで砂像作りを成功させ、「ちょうの里再生事業」ではマスコットである蝶の幼虫のイラスト入り缶バッジを作成するなど、自主事業の実施に際しての工夫は評価できる。 ・スポーツ施設を中心に無難に管理されているが、公園の魅力向上につながるもう一步の取組が望まれる。
グループ全般				<ul style="list-style-type: none"> ・個々の公園の持つ特徴を的確に捉え、公園ごとの事業に反映するなど高い管理運営能力が発揮されている。 ・スタンプラリー、共同作業など、グループ力を生かした事業展開を実施している。 ・スタンプラリーについては、地域との連携が図られるとなお良い。 ・歴史が残る城跡、池、豊かな生態系などそれぞれの公園の特徴を生かし、現在実施している多様なアクションを更に充実してほしい。 ・外国人の訪問の増加に対応して、公園の自然環境の魅力向上へもう一步の工夫が欲しい。

平成26年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都立公園等）

○ 狭山丘陵グループ（指定管理者：西武・狭山丘陵パートナーズ 指定期間：平成23年4月～平成28年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
24	狭山公園	東村山市多摩湖町二・三丁目、東大和市多摩湖四丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・草地とそこに生息する希少種の保全のための草地づくりに取り組んだ。 ・カタリスやオオクチバスの防除など、地域特有の自然を守る取組への積極性は高く評価できる。 ・「SAYAMA HILLS DAY」の内容充実、環境教育プログラム参加者増、ホームページ訪問者数の増加等、管理運営内容が成果につながっている。 ・多摩湖に隣接するポテンシャルを生かした狭山丘陵の玄関口でのガイドウォーク、パークレンジャー等の活動は評価できる。 ・活発的な友の会活動など、市民を巻き込んだ活動が評価できる。 ・一部の事務処理に不適切な事例があった。事務処理手続の確実な実行を望む。
25	八国山緑地	東村山市諏訪町二・三丁目、多摩湖町四丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・陸地化が進んだ湿地の一部を掘削し、トウキョウダルマガエルや多様な水生植物が生育する豊かな湿地を取り戻す取組を実施するなど、生物多様性に配慮した管理を行った。 ・関係団体と連携し「八国山防災デー」を開催し、公園が広域避難場所であることの周知を図った。 ・自然環境の保護育成だけでなく、防災への取組も効果が出てきている。この方向で、さらなる努力が期待される。 ・尾根の緑地における自然の木々、花々、生物との出会いをより魅力化するようなウォーキング手法等の工夫に期待したい。
26	東大和公園	東大和市湖畔三丁目、高木一丁目、狭山三丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・希少種のハルゼミと本種が好むアカマツ林の保全、再生を図るなど生物多様性に配慮した管理を実施した。 ・伐採や無断植栽の課題に関して、地元との合意形成につなげた点は評価できる。 ・地元住民参加の「ちょこっとボランティア」を隔月で実施した。 ・継続的な笹刈りのほか、落葉による「カブトムシ幼稚園」や活動案内看板の設置を行い、生物多様性の保全につなげている。 ・現在地番号を設置する「パークモニタリングシステム」の取組は管理人員の少ない自然地を多く持つ公園緑地の管理に有効と思われる。実績分析の公表を望む。
27	野山北・六道山公園	武蔵村山市本町三・五・六丁目、三ツ木、岸、瑞穂町石畑、殿ヶ谷、高根	S	<ul style="list-style-type: none"> ・保全活用計画に基づき公園内の複数の湿地における維持管理を行った。 ・トウキョウサンショウウオ、オオアブノメ、ミズハコベなど希少動植物の保護育成に積極的に取り組み、大きな成果を上げている。 ・里山の特性を生かし、年間を通じて田圃での作業を行ったほか、雑木林マイスター講座を入門編からスキルアップ編まで開催するなど、初級者向けから上級者向けまで様々な講座やイベントを実施した。 ・雑木林マイスター講座や里山ガーデナー講座修了者が公園ボランティアとして活動するなどの好循環により、過去最高のボランティア数となった。 ・多様なイベントの開催、多数のボランティアの受入れなど住民との協働も順調に進展していることが認められる。 ・大都市東京の中で、田圃、里山の体験メニューが充実していることは、大いに評価できる。今後は、本公園発で、全国のモデルとなるオリジナルプログラム開発に寄与することを望む。 ・オーバーユース問題を考慮しつつ、更なる利用者増を図り、名実ともに里山公園の最高点を目指して取り組まれたい。
グループ全般				<ul style="list-style-type: none"> ・GISを利用した生物情報、維持管理履歴のデータベース化とその活用を実施しており、希少種の保護と生物多様性の保全に成果を上げた。 ・多様な年齢層に向けた普及啓発、情報発信への取組も成果を上げている。 ・ホームページ、ブログの更新のほか多彩なツールにより情報発信を行った。各種メディアに対しても積極的に情報提供し紹介されたことにより、来園者の増加に寄与した。 ・過年度の実績を踏まえて、各種プログラムの実施を他公園に広げるなど、着実な実績を上げている。パンフレットやオリジナルグッズ等のデザインの質が高く、利用者へのアピール度も高いと思われる。ガーデナー講座等の運営も専門性に基づいた内容となっている。 ・狭山丘陵の自然の保全、生物多様性の創出など、公園の特性を踏まえながら、意欲に満ちた様々な取組を行っている。オリジナルグッズの販売、質の高いWEBサイト等、PRに積極的である点も評価できる。 ・ボランティアを巻き込んでの活発な市民活動が評価できる。 ・里山に立地する公園の管理運営のあり方を真摯に追及し、実践している点で間違いなくトップランナーであると実感する。高水準を持続することは極めて難しい課題であるが、今後それを成し遂げる技量を発揮することを期待する。 ・狭山エリアの持つ大きな魅力をそれぞれが磨きながら、お互い連携し、相乗効果を発揮できるようなプログラム開発に期待する。

平成26年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都立公園等）

○ 多摩丘陵グループ（指定管理者：公益財団法人東京都公園協会 指定期間：平成23年4月～平成28年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
28	長沼公園	八王子市長沼町、下柚木	A	<ul style="list-style-type: none"> ・タマノカンアオイ、カタクリなど保全について実績を積み重ねている。 ・常勤職員が配置されていない状況であるが、急傾斜地崩落への対応は迅速であった。 ・季節に応じた多種多様なイベントの開催やボランティアとの協働によるウォーキングの実施など、公園の魅力向上につながる取組を行っている。 ・QRコードを活用した園内での最新情報発信など、非常駐型公園における情報案内を工夫している。 ・高低差100メートルの起伏のある丘陵公園の持つ、自然、生態系が魅力であることを踏まえたウォーキング、エコツーリズム等のメニュー開発を更に進められたい。 ・公園の情報発信については、現地での情報発信、利用者ニーズの汲み取り、コミュニケーション方法などを工夫されたい。
29	平山城址公園	八王子市堀之内	A	<ul style="list-style-type: none"> ・季節に応じた多様なイベントの開催やボランティアとの協働によるウォーキングの実施など、公園の魅力向上につながる取組を行っている。 ・ウォークツアーのリニューアル、剪定によるビューポイントの確保など、公園の魅力づくりがなされている。 ・古代武将ゆかりである本公園の特徴を喚起させることも含め、雑木林の魅力も踏まえたメニューを開発されたい。 ・公園の情報発信については、現地での情報発信、利用者ニーズの汲み取り、コミュニケーション方法などを工夫されたい。
30	小山田緑地	町田市下小山田町、上小山田町	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングイベントを平日に開催し、平日におけるイベント需要を確認できたことは、今後の事業展開に有益である。新たな展開を目指す姿勢は評価できる。 ・里山学芸員が中心となった「里山カレッジ」の更なる充実に期待する。 ・一部の事務処理に不適切な事例があった。事務処理手続の確実な実行を望む。 ・里山ミーティングの運営によるボランティア間の相互連携の推進、大里山ミーティングの成熟によるウォーキングイベント等の各プログラムの活発化、多摩丘陵全体の魅力向上を期待する。
31	小山内裏公園	町田市小山ヶ丘二・四丁目、八王子市南大沢四・五丁目、鎌水二丁目	S	<ul style="list-style-type: none"> ・植物多様性センターと連携し、萌芽更新エリアにおける伐採後の萌芽状況をモニタリングし、その結果を今後の計画的な樹林更新に役立てるため、データとして蓄積している点は評価する。 ・季節に応じた多様なイベントが実施され、来園者数が減少する冬季にもイベントを実施するなど積極的に魅力向上に取り組んでいる。また、昨年度作成した「里山・里山を歩こう」を活用したウォーキングイベントの開催や、セルフガイドブックの作成など、更なる利用促進に努めたことは高く評価できる。 ・地元自治体、学校、企業などと連携し、災害時の円滑な協力体制の構築を目的とした防災イベント「チャレンジ防災」を立ち上げた。
32	桜ヶ丘公園	多摩市連光寺三・五丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ホテルのDNA分析や雑木林の萌芽更新などに成果を上げたことは評価できる。更なる発展、応用を期待したい。 ・季節に応じた多種多様なイベントが実施され、来園者数が減少する冬季にもイベントを実施するなど積極的に魅力向上に取り組んでいる。 ・都民協働において、里山ミーティングの運営によるボランティア間の相互連携の推進、大里山ミーティングの成熟による各プログラムの活発化等を期待する。 ・野草園リーフレットの作成、月例ガイドウォークの開始などの普及事業と、雑木林の更新事業、竹林の整備事業、タマノカンアオイの保全などがあいまって、都民協働による公園の環境保全が進むことが期待される。
グループ全般				<ul style="list-style-type: none"> ・ライフサイクルコストを踏まえた維持管理のため、指定管理第一期、第二期の補修履歴を総括的に取りまとめ、次年度の予防保全型維持管理計画の立案に役立った。 ・大学等の専門機関と連携した調査に基づく「里山循環モデルづくり」は生物多様性を踏まえた重要な取組であり、大変高く評価できる。 ・公園のにぎわいも都市公園の重要な要素であるため、貴重な自然資源を意識するあまり一般利用者の利用促進に消極的にならないよう、取り組まれない。 ・「多摩丘陵の昆虫たち」が製作されたが、各公園でのプログラムや、セルフガイドツールとしての活用など、更に工夫されたい。 ・昆虫の保護及び増加に積極的に取り組み、PRのポイントにすることを期待する。 ・東京の魅力の一つである多摩丘陵の歴史、文化及び自然の生態系も生かした公園の連携モデル事業に期待したい。 ・ホテルの保全、キンランの増殖など生物多様性保全の取組を継続してほしい。また、竹林の管理にも引き続き着実に取り組むことを望みたい。 ・エコツーリズムなど、環境名所づくりの事業体系を確立し、公園間の連携を生かした取組を推進されたい。また、動植物の解説板の設置など更なる路傍展示の充実に期待する。

平成26年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都立公園等）

○ 武蔵野の公園グループ（指定管理者：西武・武蔵野パートナーズ 指定期間：平成23年4月～平成28年3月） （※ 東伏見公園のみ平成25年4月～平成28年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
33	武蔵野中央公園	武蔵野市八幡町二丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地元市と共催した防災フェスタをはじめ、公園の特性を生かした様々なイベントを開催するとともに、ガーデンパークをPRするためのポストカードやポスターの作成等、自主事業も積極的に実施し、公園の魅力向上に取り組んでいる。 ・模型飛行機フェスティバル等公園の魅力向上の取組や接遇のレベルの高さは維持されている。 ・コミュニティガーデナー養成講座の修了生が花壇ボランティアで活動する好循環ができているほか、近隣の学校と年間を通じて、都民協働に取り組んでいる。 ・「ガーデンパーク」というコンセプトの下、多様なイベントを実施し多くの参加者を集めている点は評価できる。特に武蔵野市との共催による防災フェスタに前年比5倍もの参加者を得たことは大きな実績である。 ・広い原っぱの特性を生かした現在の公園利用メニューに加え、さらに新たなアイデアによるメニュー開発を期待したい。
34	武蔵野公園	小金井市前原町二丁目、中町一丁目、東町五丁目、府中市多磨町二・三丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング調査ときめ細かい林床整理や落ち葉かき等の維持管理により、多数の東京都レッドリスト掲載種を確認し、保全に努めている。 ・「桜マップ」の作成は本公園の特性をPRする方策として評価できる。 ・野川や調整池と公園との融合による魅力向上への取組については、更なる施策を期待したい。 ・本公園ならではの特性を生かした更なる公園利用メニュー開発に期待したい。
35	浅間山公園	府中市浅間町四丁目、若松町五丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地元市、地域団体等が参加する懇談会で生物多様性に配慮したゾーニングを決定し、そのゾーニングに基づいた維持管理を進めている。 ・ボランティア団体や大学、地元市等と連携して「浅間山を考える会」を定期的に開催し、保全管理方針を検討するなど積極的に都民協働に取り組んでいる。 ・ボランティア団体の協力を得ながら、小学校の環境教育授業から大学院の講義まで幅広く教育普及を行い、企業のCSR活動の受入れも行うなど、自然に対する理解・関心の啓発に努めている。 ・企業、学校、地域団体等の参加による雑木林保全活動を積極的に受け入れる体制ができており、懇談会による保全管理計画見直しなど、関係機関との連携も良好に図られている。 ・希少種ムサシノキスゲが生育している特性に加え、武蔵野の雑木林の中の野鳥、野草は、本公園独自の資産であるので、これらを生かし、生物多様性に配慮した公園利用メニュー開発を期待する。 ・保全管理方針などの成果の活用について、これまで以上に着手されたい。
36	府中の森公園	府中市浅間町一丁目、緑町二丁目、天神町二丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツコーディネーターが常駐することを生かし、公園内の充実したスポーツ施設の利用促進を強化している。 ・公園周辺施設と連携したイベントや、スポーツレクリエーションの拠点としての役割を生かしたスポーツ講座など多様なプログラムを実施し、利用者層の拡大、利用促進を図った。 ・「ワンワンフェスタ」の開催や「むさしのパークカフェ」の設置など、積極的に自主事業に取り組み、公園の魅力向上、利用促進を図っている。 ・子供向けスポーツイベントの充実、「ちゅうちゅうホリデイ」イベント参加者増など、利用者層拡大に取り組んでいる。

37	野川公園	調布市野水一・二丁目、小金井市東町一丁目、三鷹市大沢二・三・六丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・粘り強い対応によりホームレスを退去させた。また、利用者間でトラブルを起こしていた対象者とも根気強く面談し、問題解決に導いた。 ・生物多様性スポット、昆虫ランド等の維持と活用、アカガエルの調査と保全など生物多様性に配慮した取組を行った。 ・公園の特性を生かした自然観察会やスポーツイベント等多種多様なイベントを開催し、公園の魅力の向上に取り組んだ。 ・自然観察センターのリニューアルに際しての公園ボランティアとの意見交換、暮らしの中で自然とのつながりを育む「むさしのカレッジ」の新規実施等、都民協働、自主事業とも積極的に取り組み、公園の魅力向上に寄与した。 ・一部の事務処理に不適切な事例があった。事務処理手続の確実な実行を望む。 ・武蔵野の森公園など、指定管理者が異なる公園グループとの連携を始めたことは評価できる。更なる連携強化を望む。
38	狭山・境緑道	小平市、東村山市、東大和市、西東京市	A	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣住民からの要望に即応し、剪定等を行うことで、苦情・要望件数の減少に効果があった。 ・ガーデンパートナーへのヒアリング完了は地道なものであるが、高く評価できる。今後は成果を生かして管理運営に役立てていただくことを期待する。 ・住宅地を貫く緑道という管理が困難な地形であるにもかかわらず、トラブル対応等、努力している。
39	玉川上水緑道	福生市、昭島市、立川市、小平市、三鷹市、武蔵野市、杉並区	A	<ul style="list-style-type: none"> ・緑道という特殊な条件の下、近隣住民からの要望に即応し、剪定等を行った。 ・緑道のうち小平区間の自治体、市民団体、住民と現地を歩き、境界枝についての協議を行ったほか、環境局主催の関係者連絡会への出席による情報共有等を通じて、適切な維持管理につなげた。 ・地元関係者との連携、協働をこれからも進められたい。
40	東村山中央公園	東村山市富士見町五丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・パークレンジャーが常駐する強みを生かし、生物多様性スポットの維持と活用等により生物多様性に配慮した園地管理を実施している。 ・防災イベントの初開催、キッズプログラムの新規開催、バードサンクチュアリの改善などの成果があった。 ・環境学習のフィールドとしての地元小学校や高校等からの受入れ実績には目覚ましいものがある。 ・地元市と初の共催となった総合防災訓練に多数の参加者を集めている。 ・武蔵野の面影を生かした現在の公園利用メニューに加え、さらに新たなアイデアによるメニュー開発を期待したい。
41	武蔵国分寺公園	国分寺市泉町二丁目、西元町一丁目	S	<ul style="list-style-type: none"> ・昆虫ランドの維持と活用、トラップの設置による外来種の駆除等により生物多様性に配慮した維持管理を行った。 ・公園内のみでなく、地元市と連携したイベントを行っており、多くの参加者を集め公園の魅力の向上に取り組んだ。 ・公園懇談会を開催して地元市や市民団体等と意見交換を行って、子育てにやさしい公園づくりを進めた。 ・国分寺市や社会福祉協議会との防災事業に積極的に取り組んでいる。 ・「あったらいいなをみんなでつくる公園プロジェクト」を始め、地元地域を挙げての各種企画イベントは公園を核にしたまちづくりのモデルケースとして高く評価できる。今後の更なる展開に期待する。 ・埋蔵文化財包蔵地の歴史的特性を生かした公園利用メニュー開発に、これまで以上に着手されたい。

42	東大和南公園	東大和市桜が丘二・三丁目	S	<ul style="list-style-type: none"> ・放置自転車が多かった出入口に花壇を設置し、公園の適正化につなげた。事前の周知や調整を十分行い、大きな苦情もなく完了させたことは他の公園にも大いに参考となり、高く評価できる。 ・キンランの保護など、地道な生物多様性への取組も評価できる。 ・公園の特性を生かしたスポーツイベントを多数開催するなど、公園の魅力の向上に取り組んだ。また、地元市との共催の防災フェスタを充実させるなど、防災に対する意識も高めた。このような積極的な姿勢が特筆される。 ・スポーツイベントと合わせて専門家が身体測定とアドバイスを行うなど、公園の特性を生かした自主事業を行って好評を博した。 ・初めての人でも気軽に参加できる「ちょいボラ」は公園管理への市民参加を促す取組として評価できる。 ・障がい者のスポーツ人口の向上に向けた明確な方向性を検討し、その拠点の一つとしての施策を考慮されたい。
43	六仙公園	東久留米市中央町三丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣住民の苦情・要望に応え、園路灯の一部を夜間消灯したり、消灯を解除したりと、園内掲示・住民説明と効果の検証をしながら、安全対策を実施している。 ・管理所がない中、利用者が管理者に気軽に連絡できるパークモニタリングシステムにより、迅速な管理の実施を図っている。 ・トラブルの事前防止策として「愛犬のしつけ教室」を開催している点は努力の成果として評価できる。 ・地元コミュニティとの連携を協議する中から管理方針の方向性が絞られることを期待する。 ・本公園の特性である水を生かした公園利用メニュー開発に力を入れ、愛される公園を目指すことを望む。
44	東伏見公園	西東京市東伏見一丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・管理所がない中、落書きや破壊行為等の問題に対して、その都度速やかに対応し問題の収束に取り組んだ。 ・犬のマナーアップキャンペーンの実施、大型看板の設置等により、公園利用の適正化及び危険箇所への対応に努めている。 ・広い野原のある公園の特性を生かしたスポーツ教室を開催し、公園の魅力向上に寄与した。 ・トラブルの事前防止策として「愛犬のしつけ教室」を開催している点は努力の成果として評価できる。 ・本公園を代表する発信力のある公園利用メニュー開発が望まれる。
グループ全般				<ul style="list-style-type: none"> ・公園マップのリニューアルを実施したほか、Facebookの立ち上げ、ホームページの英語版の作成やレンジャーミニ図鑑の掲載等、幅広い層へのPRに取り組んだ。 ・犬のマナーアップキャンペーンや、夏季夜間や年末年始の巡回を行い、公園利用の適正化や迷惑、危険行為の防止に努めている。 ・苦情・要望件数が業務当初の半数となったことは高く評価できる。 ・ホームページ訪問者数の増加、都市公園コンクールの公園管理部門での国交省都市局長賞受賞は評価できる。 ・積極的に関係機関や各種組織との連携を図り、各種イベントやプログラム充実につなげている。 ・各公園で展開している花壇のデザインが良く、単なる植栽ボランティアに終わらない点が評価できる。 ・各公園の個性を生かし、多様な楽しみ方の提案、イベントの実施などを重ね、公園の魅力積極的に打ち出している。特にスポーツとの連携は、公園の魅力を大きく高めている。 ・充実したWEBサイトや、公園での多様な過ごし方を提案する「パークライフマガジン」の発行など、公園利用へのPRが巧みであり、評価できる。 ・市民を巻き込んだ取組やネーミングなども含め、広報戦略が評価できる。 ・キンランの保護など、地道な生物多様性への取組も評価できる。 ・「まちづくりに貢献する公園管理」の実現に向けて更なる努力を期待する。 ・「パークライフマガジン」の効果を検証されたい。

平成26年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都立公園等）

○ 多摩部の公園グループ（指定管理者：公益財団法人東京都公園協会 指定期間：平成23年4月～平成28年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
45	陵南公園	八王子市長房町、東浅川町	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「さくら祭り」、「いちよう祭り」という大規模なイベントに際し、主催者と粘り強く協議し適正に実施されるよう指導した。 ・花壇ボランティアが「竹笛づくりと自然観察会」及びスタンプラリーを企画運営し、都民協働と利用促進の好循環につながっている。 ・公園の特性を生かしたイベントなどを検討されたい。 ・ユニバーサルスポーツイベントが新たに開催されたが、健康プログラムとしてさらなる充実が望まれる。 ・自主事業の取組を更に進めてもらいたい。 ・前回の東京オリンピックの自転車会場という背景を生かした独自の公園利用メニューの開発を検討されたい。
46	小宮公園	八王子市大谷町、暁町二丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣児童館と連携した社会疑似体験イベントを開催し、子供の参加者を多数集めた。 ・前年度、評価の高かった「森の音楽祭」のブラッシュアップを是非期待したい。 ・「四季の花祭り」は年4回開催となったが、単なる一過性の祭りに終わらせないよう、さらなる工夫を期待する。 ・自然をテーマとした各種イベントには創意工夫の跡がみられる。地域連携に向けた取組も着実に強化されたい。
47	滝山公園	八王子市高月町、丹木町二・三丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに雑木林ボランティアの活動を開始した。今後は参加者増に取り組むなど、さらなる発展に期待する。 ・歴史資源に着目した催しなどを検討されたい。 ・単発ではなく、複合連携するモデル事業を今後も継続しつつ、同時に、本公園ならではの歴史資産滝山城址のポテンシャルも十分生かした公園利用メニューと情報発信に寄与することを望む。
48	大戸緑地	町田市相原町	A	<ul style="list-style-type: none"> ・森林体験塾やボランティア講師による観察会を開催し、里山の理解深化と公園の利用促進を図った。 ・新たに地域防災訓練の実施を実現させ、地域との良好な関係につなげた。 ・「大戸緑地からハイキング」の継続と発展、展開に期待する。
49	秋留台公園	あきる野市二宮、平沢	S	<ul style="list-style-type: none"> ・バラの生育に配慮して周辺の樹木の剪定方法を工夫するなど、場所場所に応じたきめ細かな樹木管理を行っていることは評価できる。 ・バラ園、樹木、じゃぶじゃぶ池などの施設の維持管理も良好に行われている。 ・「ローズフェスタ」はメディアでの事前告知が功を奏して多くの参加者を集めた。バラ園の効果的なアピールにより、本公園の魅力を多くの来園者に伝えられた点が評価できる。 ・「ローズフェスタ」を含め広い圏域からの集客が期待できる仕掛けのできる素地が多くある。これの活用を期待する。 ・これまでの努力が明確な効果が出ている。ユニファー園は有識者など一部の人には評価されるであろうが、魅力向上に一般利用者への発信が期待される。 ・ユニバーサルスポーツ活動の拠点としての取組も含め、新たなテーマプログラムに取り組まれたい。
グループ全般				<ul style="list-style-type: none"> ・アメニティー巡回、パークモニターからの情報提供への対応、犬のマナーアップキャンペーンなどにより、公園利用の適正化及び危険箇所への対応に努めている。 ・「ぐるっとガイド」の発刊は広報ツールの少ない本グループにとって画期的なことと評価する。 ・集客資源が比較的乏しい公園グループであるが、魅力向上を目指した5公園周遊イベントの取組は評価できる。 ・地元を巻き込んだイベントや自然との調和がとれた公園管理に真摯に取り組んでいる。 ・公園の認知度向上をグループを挙げて実施し、各公園がより独自の特色を出せるよう期待する。 ・多摩部の公園周遊イベントの今後の継続とともに、多摩部の公園の有する環境、資源について、更に情報発信が望まれる。 ・公園の特徴を生かした取組が効果を発揮してきている。現在の方向性に従い、更なる継続的活動が望まれる。 ・グループ5公園の周遊利用促進のためのプロジェクトチームを立ち上げ、周遊イベントに取り組んだ。積極的な取組であり評価できる。今後は集客力の増加に期待する。 ・パークミーティングを初開催し、地域との密接な関係を構築する足掛かりとした。今後は公園周辺施設を含むエリアミーティングへの展開など、より積極的に取り組まれたい。

平成26年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都立公園等）

○ 大神山公園 （指定管理者：公益財団法人東京都公園協会 指定期間：平成23年4月～平成28年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
50	大神山公園	小笠原村父島	A	<ul style="list-style-type: none"> ・花火大会時に、漂着した海藻を素早く撤去し、島の大規模イベントの成功に尽力した姿勢は高く評価できる。 ・観光船寄港時に、通船の発着所に公園情報を提供するブースを設けることは、PRのための良い取組である。 ・観光船対応やガイドマップの作成等について、村内各機関との連携により新たな取組の努力が見られる。今後も継続した取組が期待される。 ・一般的に適切な管理が執り行われているものの、特に大村中央地区では、よりきめ細かくかつ効率的な対応を望む。 ・「入門フィールドとしての公園」づくりの観点から、さらに、フィールドの魅力向上、解説サインの充実や来島者への情報提供が効果的に基づいて行われることを期待する。 ・ホームページの内容の充実が望まれる。 ・徐々に観光客向け案内所としての認知度が上がり、父島全体の中心地になりつつあることに努力が見られる。今後は更なる知名度向上策を望む。

平成26年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都立公園等）

○ 夢の島公園・夢の島熱帯植物館（指定管理者：アメニス夢の島グループ 指定期間：平成23年4月～平成28年3月）

No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
51	夢の島公園	江東区夢の島一・二丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・排水改善のための現地調査、敷地所有者等との調整を熱意を持って行い、原因究明、解決を果たした点は評価できる。 ・都立公園内最大級イベントの実施にあたっては、準備段階から主催者と利用調整を図り、適切な公園占有及び使用を指導した。 ・首都圏において初開催となる熱帯植物館の展示と連動したランニングイベントや、照明やバルーンを使って光の演出をする夜間ジョギングイベントの誘致等、斬新な発想で公園利用促進に取り組んでいる。 ・花木の補植や、熱帯植物の植栽による「植物館のある公園イメージ」づくりは、公園内の花修景の一環としてもさらなる継続を望む。
52	夢の島熱帯植物館	江東区夢の島二丁目1番2号	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ボイラー設備の確実な整備を実施し、清掃工場の定期点検による熱供給停止に備えた。 ・老朽化施設にあつて、適切な管理がなされている。 ・「アオノリュウゼツラン高さ当て大会」の実施等、植物園の魅力を発信するための自主事業を積極的に開催した。 ・年間を通しての各種イベントの開催、常陸大宮市との提携、植物園協会を通しての協力関係など、植物館の魅力向上につながっている。 ・夢の島公園と連携したイベント実施等により、26,000人に及ぶ利用者増の実績を上げた点は、評価に値する。
グループ全般				<ul style="list-style-type: none"> ・公園・植物園の連携による相乗効果が上手く発揮されている。 ・施設の老朽化を様々な工夫により克服し、第100回を迎えた「森の学校」をはじめ地道にイベントなどを重ね、入場者を確保されており、その努力に敬意を表する。 ・マリナー、BumBとの連携に取り掛かっているが、公園全体魅力向上のためにも、さらなる連携強化を期待する。 ・2020年に向け、夢の島地区発信のための具体的な事業開発により一層の努力を望む。

平成26年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都立公園等）

○日比谷公会堂・日比谷公園大音楽堂（指定管理者：大星ビル管理・共立・日比谷アメニス共同事業体
 指定期間：平成23年4月～平成28年3月）

No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
53	日比谷公会堂	千代田区日比谷公園一丁目3番	A	<ul style="list-style-type: none"> ・空調設備が故障した際、設備の特性を踏まえた運転、利用者への事前周知等のきめ細かい管理を行い、事故や苦情の発生を未然に食い止めた。 ・設備関連の細かなメンテナンスは、当該グループならではの運営能力であり、当該老朽化した施設にあっては多くのメリットをもたらしている。 ・「日比谷公会堂オープンデー」や「クリスマスコンサート」において、広報活動に注力し、プログラム内容にも工夫を凝らして好評を得た。 ・耐震工事に伴う施設予約受付休止の対応で、丁寧かつ適切な説明を行った結果、大きな苦情や混乱がなかった点は評価できる。 ・利用者の利便性を高める日比谷サービスステーションの試みは評価できる。 ・前年のような周年事業とリンクした大きな事業、発信はなかったものの、それを契機としたイベントも確実に実行し、日比谷の顔づくりに貢献している。
54	日比谷公園大音楽堂	千代田区日比谷公園一丁目5番	A	<ul style="list-style-type: none"> ・堂内の樹木に対し、外観診断、精密診断を駆使し的確に現状を把握したことは、今後の樹木管理に有用な布石となり評価できる。 ・長年にわたる慣習を見直し利用機会を拡大するため、周辺への説明の労を厭わず平日コンサートの試行実施に取り組んだ積極性は、高く評価できる。 ・施設の魅力をアップしようとする姿勢を大いに評価する。
グループ全般				<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した施設の改善に着実に取り組んでいる。 ・東京、日本を代表するセントラルパーク日比谷地区を目指すため、近隣地区との大きな連携を図り、2020年に向け、世界にもブランド発信をされることを望む。 ・2020年に向けて公園内にあるレストラン等との連携を検討されたい。 ・日比谷公園の中心的な施設であるので、公会堂と大音楽堂との連携強化に加え、公園管理者及び園内の各種事業者との連携を模索し、公園全体としての魅力を高める取組を検討されたい。

平成26年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都立公園等）

○ 青山葬儀所（指定管理者：日比谷花壇グループ 指定期間：平成23年4月～平成28年3月）

No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
55	青山葬儀所	港区南青山二丁目33番20号	A	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生面の定期検査を実施するため、食品衛生管理責任者の資格を取得し、事故防止に努めた。また、高齢の参列者に対する声掛け、車椅子の準備など高齢者の安全に配慮した対策を講じている。 ・式場前回廊のハンギングバスケットに季節の花をアレンジするなど、細やかな配慮が見られる。 ・葬儀に関する社会的環境の変化する中、可能な範囲で様々な利用ニーズに応えるべく、施設改良、各種利用提案などでき得る努力を行っている。 ・利用者数の減少について要因分析を行い、サービス改善やDVDの配布等による葬儀社への案内などの工夫がなされている。 ・毎年何らかの工夫をして、品質やブランドイメージの維持に努めている点は評価できる。葬儀社以外に直接のアプローチをして法事等への利用を求めることも考慮されたい。 ・斬新な照明等新たな葬儀方法の紹介、電力供給会社の切替え等は評価すべき点である。今年度は、新たな公式サイトのアップ等が期待される。 ・大規模な施設の改修を行えない指定管理者としては実施可能な方策に限界はあるが、こまめな補修や営業努力により、利用者増の取組を継続されることを期待する。

平成26年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都立公園等）

○ 防災公園グループ（指定管理者：公益財団法人東京都公園協会 指定期間：平成23年4月～平成28年3月） （※ 駒沢オリンピック公園のみ平成26年4月～平成28年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
56	木場公園	江東区木場四・五丁目・平野四丁目・三好四丁目・東陽六丁目	S	<ul style="list-style-type: none"> ・防災公園としての自覚を持ち、発災時に協力が必要不可欠な近隣企業をはじめ、地域と協働して数多くの防災訓練を実施し、連携強化を図ったことは高く評価できる。 ・発災時に役立つ道具の展示をクイズ形式で行い、来園者の防災意識向上に寄与した。 ・本公園に関連する映画の上映を行って多くの来園者を集め、多くの来園者を集めるとともに木場ミドリアムを有効活用した。 ・「緑と防災体感フェスティバル」では、防災施設の体験学習を行い、防災の理解を深めるとともに、来園者にその重要性を伝えた。また「わんぱく防災フェスタ」の参加者は昨年度から大幅に増加した。 ・地元区との防災協定の締結は、本公園の社会的使命を踏まえた積極的な取組であり、高く評価できる。 ・都市緑化植物園の見本園エリアの改善など、防災以外の事業展開についても積極的な取組を期待する。
57	善福寺川緑地	杉並区成田東二・三・四丁目、成田西一・三・四丁目、荻窪一丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・公園利用団体からの施設設置要望に対し、園内の施設利用を状況をよく把握し、都と団体の間の調整を適切に行った。 ・防災夜間訓練、「親子かまどベンチ火起し体験」などの多彩なイベントは評価できる。 ・歴史ガイドウォークについて和田堀公園との連携が図られているが、善福寺川環境に関するプログラムについても、区の進める「水鳥の棲む水辺」事業などを踏まえながら、地域住民の環境に対する関心を高める事業展開を更に進めることを期待する。 ・川沿いに展開するユニークな緑地公園の形状、自然のポテンシャルを大いに生かした、独自のイベント、オリジナルプログラム開発に期待する。 ・防災や利用者の安全確保への取組は十分と認められるが、桜などの資源を生かした魅力向上の取組を今一歩進められたい。
58	代々木公園	渋谷区代々木神園町、神南二丁目	S	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームレスに対して福祉施設への入居を勧める交渉や、関係部署と連携した巡回警備やビラ貼りを行い、ホームレステントの削減やごみの撤去等、園内適正化に大きく寄与した。 ・デング熱発生という非常事態において、都からの指示に基づき、迅速な対応を行ったことは評価できる。特に24時間警備や多数の問合せへの対応、大量の看板設置など、適切かつ効果的な対策を行ったことは高く評価できる。 ・「防災ライフフェスタ2014」の中で防災キャンプを実施し、街で被災した際の対応や夜間の過ごし方等を実践的に学べるカリキュラムで訓練を行った。 ・NPO法人と協働して「あそび万博」を実施し、昔あそび体験やかまどベンチ体験等を通して多くの子供たちの参加を集めた。 ・「東京オリンピック50周年記念イベント」を自主事業として実施した。積極的なPRにより多くの参加者を集め、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた期待感を高めた。 ・引き続き、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けたオリジナルプログラム、事業開発に大いに期待する。
59	和田堀公園	杉並区大宮一・二丁目、成田東一・二丁目、成田西一丁目、堀ノ内一・二丁目、松ノ木一丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・アメニティー巡回で発見した遊具や園路舗装の不備を速やかに改善し、事故を未然に防止した。 ・和田堀池の水質改善に取り組んだことは評価できる。 ・老朽木対応及びカワセミの子育て環境の保全及び増進に積極的に関与されたい。 ・防災キャンプにおいて、消防署と協力した水消火器体験や震災時に実際に使用するテントでの宿泊等を実施し、地域の防災意識の向上及び関係機関との連携強化を図った。 ・東京都・杉並区の合同防災訓練の会場として、会場整備や各参加団体等との調整を円滑に行った。 ・防災公園としての自覚を持ち、様々な活動をイベント、地域との連携といった形で実行していることは評価できる。今後は、本公園の持つ自然、古代遺跡等のポテンシャルを生かした具体的なプログラム開発に期待する。

60	城北中央公園	板橋区桜川一丁目、小茂根五丁目、練馬区氷川台一丁目、羽沢三丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・公園内でのグラウンドゴルフの実施要望を受け、要望団体と調整した上で利用上のルールを作成し、ルールに基づき適切に実施させた。 ・苦情に対して、苦情者やその他の来園者とよく対話を行うことで解決に努め、苦情発生を契機により良い接遇に発展させるよう努めている。 ・地域と連携した防災訓練の実施により防災公園としての役割や地域住民との連携の重要性をアピールするとともに、イベントの一部に防災施設の体験を組み込むなどして興味を喚起するための工夫を図っている。 ・地元企業との連携によるクリーンアップ作戦により都民協働の幅を広げたことは評価できる。 ・継続イベント・プログラムについては、関係機関との連携等による内容の充実、市民参加のきっかけとなる運営内容の改善など、新たな展開が望まれる。 ・古代遺跡の存在が公園の大きな個性の一つであるので、新たなイベントを継続的に打ち出せるよう取り組まれない。
61	光が丘公園	練馬区光が丘二・四丁目、旭町二丁目、板橋区赤塚新町三丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ損壊事件発生時の、直営での泊まり込み、監視カメラ設置などの対応には、強い責任感が感じられる。 ・防災への様々な活動は評価できる。さらに、本公園の特徴である大規模な芝生公園の使い道を有効に考え、名物、風物開発に期待する。 ・フリーマーケット実施の際の現場確認や雨天時の対応、都への報告について不備があった。今後の改善に期待する。 ・「桜花期クリーンキャンペーン」を実施し成果を上げたことは評価できる。醸成された公園美化機運の持続に努められるよう期待する。 ・イチョウ並木はきれいに剪定されているが、葉が若干小ぶりなため、樹勢維持への注力が望まれる。 ・美しい公園の魅力を持ちながら、その魅力をまだ十分に発揮できていない。利用者の満足度向上につながる、もう一歩の魅力向上策が望まれる。
62	舎人公園	足立区舎人公園、西伊興町、舎人町、入谷町、古千谷一・二丁目、皿沼三丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「放置自転車ゼロキャンペーン」を行い、公園内の放置自転車の台数を減少させることに成功した。 ・こども広場の排水対策、北側階段への手すり設置など、利用者の安全・快適性を高める取組を迅速に行う姿勢は評価できる。 ・ボランティアと協働して花壇の植付けのデザインと植栽を行う「花壇魅力アップ事業」を自主事業として実施した。園内の美観向上につながるとともに、ボランティアとの積極的なコミュニケーションを図ることができた。 ・草刈り作業時の飛び石事故後、安全対策の確認に時間を要して約1か月間作業が中断し、管理上支障が発生した。 ・健康遊具の不備を点検で見発見できずに負傷事故が発生し、対応にも一部不備があった。改善に努められたい。 ・広大な公園であり管理も困難かと思われるが、利用者の安全確保に向けて、更なる努力を期待する。 ・防災公園としての役割を十分に生かした様々なプログラム開発は評価できる。今後は本公園ならではのキャンプ場を生かした事業に期待する。
63	水元公園	葛飾区水元公園・東金町五・八丁目、埼玉県三郷市	S	<ul style="list-style-type: none"> ・水質改善を図ることで絶滅危惧種の繁殖に成功するなど、本公園を象徴する水生生物の育成に努めた。 ・冬季の花菖蒲類の株分けの資料を発掘し、試行をした上で実際に株分けを実施し、昔の貴重な栽培技術を承継した。 ・花菖蒲による花修景に加え、埋土種子の発芽実験や水質浄化リサイクルなど植物資源の活用に関する取組は高く評価できる。 ・花菖蒲の魅力のアピールする「花菖蒲ガイド」を実施した。クイズや写真を交えた紙芝居を新たに作成するなど、参加者に栽培方法や取組内容をPRした。 ・「家族で災害時に生活できる知識」をテーマに防災キャンプを実施した。新聞や区の広報で広く参加を呼び掛けた結果、前年を大きく上回る応募があった。 ・前年度設置の防災ショールームについて、初期消火訓練等を行ったオープニングイベントを皮切りに、毎月普及イベントを行い、防災意識の普及啓発に取り組んだ。 ・地元区との防災協定の締結は、本公園の社会的使命を踏まえた積極的な取組であり、高く評価できる。 ・絶滅危惧種の復活、花菖蒲の適切な管理等が行われているが、さらに、公園の持つ自然資源の保全活用の取組を期待する。 ・水郷を持つ公園としての特徴を生かした取組は評価できる。その中で、特にシンボルとなる花菖蒲、ポプラ並木、メタセコイアなどの景観特性を更に生かし、東京の水郷地域の風物詩とすることを期待する。

64	篠崎公園	江戸川区上篠崎一・四丁目、篠崎町五・六・七・八丁目、西篠崎一・二丁目、谷河内二丁目、南篠崎町四丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣住民からの看板設置要望に速やかに対応するなど、対話を重視したきめ細やかな利用者サービスを行っている点は評価できる。 ・地元区との防災協定の締結は、本公園の社会的使命を踏まえた積極的な取組であり、高く評価できる。 ・地元区の祭りにブースを出展して、防災トイレ等の災害時に役立つ施設の知名度向上に寄与した。 ・過去の開催時に好評だった自主事業「段ボールクッキング」について、回数を増やして実施した。実際に調理して参加者に提供するなどの工夫を行っており、評価できる。更なる充実に期待する。 ・アジサイによる魅力アップに取り組まれたことは公園の個性に着目したものと評価できる。更なる発展を期待する。 ・地域との連携による自主事業は、好感が持てる。今後は本公園ならではの強みを発掘し、情報発信を図られたい。
65	葛西臨海公園	江戸川区臨海町六丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の声を受け、「職員によるマツのみどり摘み教室」を職員が企画・立案して実施した。 ・開園25周年イベントを実施し、公園の歴史を振り返るブースの設置等、公園への興味を喚起するプログラムを実施した。 ・地元区との防災協定の締結は、本公園の社会的使命を踏まえた積極的な取組であり、高く評価できる。 ・撮影の問合せに対し、管理所内で撮影ルールや接遇方法の徹底がなされていなかったため、正確な説明ができなかった案件があった。 ・一部の事務処理に不適切な事例があった。事務処理手続の確実な実行を望む。 ・葛西臨海水族園との連携により、公園全体の知名度の向上や公園の魅力アップにつながるようなイベント、プログラム開発に期待する。
66	駒沢オリンピック公園	世田谷区駒沢公園、目黒区東が丘二丁目、八雲五丁目	S	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から地域警察との連携や公園内滞留者への声掛け等を進めた結果、ケータリングカーの撤去や公園内テントの撤去等、園内適正化に大きな成果を上げたことは高く評価できる。 ・大規模共同作業によるジョギング・サイクリングコースを中心とした樹木管理を行ったほか、大刈り込みや梅林等の大規模な手入れを実施し、安全性と景観の向上に努めた。 ・体育施設と連携し、双方の視点から施設点検を行うという新たな試みを行っている。また、ハザードマップを活用した適切な巡回と事前対応を行うことで、台風による被害を最小限に留めた。 ・雑誌の取材に対し、公園の様々なスポットを積極的に紹介することで、公園の注目度及び来園者数の増加に寄与した。 ・防災キャンプにおいて、関連団体と連携して公園・運動施設を一つの防災拠点として周知に努め、実施後の利用者アンケートでも好評を得た。 ・50周年記念イベントにおいて、隣接大学と連携して様々なプログラムを組み、多数の参加者を集め、見事企画を成功させたことは高く評価できる。 ・2020年に向け、前回東京オリンピックのメモリアル公園としての自覚、役割を担い、今からそのプログラムを実践されたい。
67	武蔵野の森公園	府中市朝日町三丁目、調布市西町、三鷹市大沢五・六丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO団体等と連携し、「のびのび親子館」の利用促進プログラムを定期的にも実施したほか、親子向け防災講座を開催して施設の知名度向上と利用促進に努めた。 ・一部の事務処理に不適切な事例があった。事務処理手続の確実な実行を望む。 ・調布飛行場跡地というメモリアルパークとしての位置付けもあるので、戦争遺跡という公園利用のポテンシャルを有効活用した独自性のある公園運営を望む。

68	小金井公園	小金井市桜町三丁目、関野町一・二丁目、小平市花小金井南町三丁目、西東京市向台六丁目、武蔵野市桜堤三丁目	S	<ul style="list-style-type: none"> ・長年に渡り課題となっていた周辺主要街道における駐車場入庫待ちの車両による渋滞解消に取り組んだ。その結果、行楽シーズンも大きな混乱はなく、周辺住民や路線バス会社からの苦情も解消した。 ・つつじ山東の常緑樹林について、下枝や支障枝の処理を近隣共同作業として行い、つつじ山広場を見通せる景観の確保と被圧されたつつじの解消を行った。 ・地域との連携による防災訓練の実施回数が前年度より大幅に増え、防災に関する意識啓発をきめ細かく行った。 ・地元警察等と連携した体験型防災イベントを開催した。開催時期を前年度と変更するなど工夫を行い、多くの参加者を集めることができた。 ・近隣の学校及びインターンシップ等の受入れ時に防災トイレ組立訓練やかまどベンチ設置訓練等を数多く実施した。防災公園グループとしてのノウハウを活用し、防災公園の役割や防災施設の使用方法の解説を行うことで、若い世代への防災意識の浸透に貢献した。
<p>グループ全般</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本社と各公園の役割の明確化や全公園への衛星電話導入など、防災公園間の協力体制を強化しネットワークの構築が図られている。 ・発災時の迅速・的確な対応のため、初動訓練や夜間対応訓練を行っているだけでなく、勤務時間内対応訓練やヘリポート訓練など多種多様な実践的な訓練を行っている。 ・防災かわら版の随時発行や帰宅支援マップ作成、防災リーフレットの改訂など防災知識の普及啓発に尽力している。 ・地域との防災訓練が定着しているとともに、公園を利用する様々な団体に構成する「公園利用活性化協議会」が各公園で立ち上がり、地域と公園のパートナーシップが図られ、災害時に向けた連携の基盤が構築できている。 ・各公園が地域の状況に応じた防災訓練を遅滞なく計画・実施する技術を備えるまでになったことは高く評価できる。 ・各公園とも複数回の防災訓練を主催、共催し、防災公園としての機能の普及啓発に貢献している。一方で、各公園の持つ機能や魅力の向上に関する取組にも注力されたい。 ・東京都が進める広域的な防災対策に協力し、連携を進めるためには、各防災公園を統括し、取組の統一性を担保する本社機能が十全に機能することが必要である。当指定管理者は、本社に十分な人員を配置し体制を整えるとともに、本社と各公園及び各公園間にネットワークを構築している点で、この要請に答えている。 ・防災公園としての役割に真摯に向き合いながらも、日常の公園としての魅力アップに努めていることが評価できる。 ・防災への対応に併せ、安全安心に対する対応も徹底されている。 ・防災以外の、公園としての適正な維持管理の実施、公園の魅力の向上及び発信という課題に対しても、緊急事態への対応、共同作業による効率的な維持管理、多様なイベント実施等、充実した成果が認められる。 ・東京を代表する大公園としての風格作りは一部の公園において確認されるが、全体としての意識付けについては道半ばである。ポテンシャルを生かした対応を期待したい。 				

平成26年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都立公園等）

○ 文化財庭園グループ（指定管理者：公益財団法人東京都公園協会 指定期間：平成23年4月～平成28年3月）

No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
69	浜離宮恩賜庭園	中央区浜離宮庭園	S	<ul style="list-style-type: none"> ・ケンブリッジ公視察への対応に際しては、事前に園路や橋等のきめ細やかな補修・整備を行うとともに迅速かつ臨機応変に対応して円滑な「おもてなし」を行い、浜離宮恩賜庭園の知名度・イメージの向上に大きく寄与した。 ・外国人来園者が年々増加する本園で、年間を通じた職員やボランティアによる「英語ガイド」を継続及び向上させていることは、公園の利用促進及びサービス向上につながっている。 ・世界最大級の観光サイトにおけるロコミ旅行者からの高評価施設としての受賞は、本園の国際的PRにつながり、外国人観光客に向けた運営、海外広報の更なる推進を期待する。 ・観光商談会における外国企業への積極的なPRや英語ガイドの配置により、日本庭園の魅力を広く発信していることは、東京都の施策に大きく貢献するものである。
70	旧芝離宮恩賜庭園	港区海岸一丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・徒長、繁茂した既存の外周植栽について、枝透かし剪定や切戻し等を行い、枝折れに強い樹形に仕立て直すことにより、暴風や大雪時の安全対策を図った。 ・往時と異なり、高層建築物に周囲を囲まれているという景観形成上の課題について、低木を間引くことで眺望を広げ、利用者の視線を池泉に導くよう促すなどの工夫を行い、作庭意図を踏まえた景観形成に努めている。 ・年間パスポートの販売促進や近隣施設への訪問活動等により過去最高の入園者数を達成できた点は評価に値する。 ・近隣企業や学校等との協働を更に推進していくことを望む。 ・2020年に向け、江戸の大名庭園の自然、文化、歴史、風情をさらに伝えていくような具体的なアクションに期待する。
71	小石川後樂園	文京区後楽一丁目	S	<ul style="list-style-type: none"> ・かねてより要望があった庭園入口の喫煙区域の全面禁煙に向けて、対策案を作成して関係部署との調整を行い、平成27年6月からの禁煙化が決定した。 ・庭園アドバイザー委員の助言を得ながら、都による修復工事を補完し景観向上を図るための補植・伐採を行ったことは、積極的に庭園の価値を高めようとする取組であり、評価に値する。 ・「講演・名園見学会」では、復元工事が完了した光圀公にゆかりのある得仁堂の内部見学を行った。また、特別公開の際は「伯夷木造・叔齋木造」のパネルを展示するなど、本園の魅力を多くの来園者に伝えた。 ・都の工事に対する利用者の理解を得るために、Twitter、ホームページ等の活用や英語表記の工事看板の設置、完成した工事現場の特別ガイドなど様々な工夫を凝らしている。 ・徳川時代の庭園の持つ景観ポテンシャルの特性を外国人観光客向けにもガイド、イベント等で、きちんと伝えていく姿勢と実績は評価できる。 ・主体的に古絵図や古文献を調査し、維持管理に作庭意図を生かそうとする試みにも高い意欲が感じられる。

72	六義園	文京区本駒込六丁目	S	<ul style="list-style-type: none"> ・ライトアップ期間に、園路養生、しだれ桜周囲のロープ柵を広げるなどの工夫を行い、混雑による事故や樹木への影響を防止した。 ・コイの餌場を撤去して護岸を復元するなど、調和の取れた景観づくりを行い、庭園の魅力を向上させた。実施にあたっては、史資料を活用して往時の景観の復元に努めた。 ・過去の資料を調査した上で行う景観復元、庭園の意匠に十分配慮した工作物の補修など、地道な取組も適切に行われている。 ・「春の六義園～つつじを楽しむ～」においては、事前の広報に力を入れた結果、目標を大幅に上回る入園者を獲得した。「秋の六義園～六義園で日本文化に親しむ～」の日本茶文化講座においては、日本語以外に英語・中国語・スペイン語と多くの言語対応資料を準備することで、多くの外国人の参加につながった。 ・「大名庭園ライトアップ」をはじめとする多様なイベントを積極的にPRすることで、目標を大幅に上回る来園者増を果たしたことが特筆すべき成果である。 ・夏の風鈴市など昔の風物詩の復活が期待される。
73	旧岩崎邸庭園	台東区池之端一丁目	S	<ul style="list-style-type: none"> ・和館前の樹木管理、洋館窓ガラスの補修等、維持管理に当たっては文化財としての館の価値を棄損しないよう、細心の注意を図りながら行っている。また、洋館方向の景観については和風庭園の鑑賞の妨げとなることを防ぐため、洋館の遮蔽を意識して枝葉の密度を濃くするなど工夫を進めている。 ・各種イベントを通して、本園の魅力や伝統工芸品の魅力をPRできた。また広報連携を行った結果、メディアで取り上げられるなど、本園の幅広い魅力発信へ貢献した。 ・世界最大級の観光サイトにおける口コミ旅行者からの高評価施設としての受賞は、本園の文化的観光拠点としての利用促進につながり、外国人観光客に向けた運営、海外広報の更なる推進を期待する。 ・オータムイベントや特別ガイドなど新しい魅力づくりが効果を上げており、高く評価できる。 ・ボランティアを活用して、来館者へのサービスを提供している。 ・今後は、2020年に向け、更なる外国人の来訪が期待されるので、よりきめの細かいプログラムに期待したい。 ・企業協賛を得てライトアップを実現したことは評価できる。協賛企業の拡大を望みたい。
74	向島百花園	墨田区東向島三丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重種である古典菊品種物を直営で育成・展示し、庭園の魅力を高めると共に、伝統技能の継承を図った。 ・ウメの補植及び管理に計画的に取り組み、古典品種を植栽することで、かつて「梅屋敷」と呼ばれていた梅の名所としての景観向上を図った。 ・萩の芽数の間引きや、梅の補植など、庭園の価値を維持し、高めていく管理も適正に行っている。 ・隅田川焼や、古典菊、春の七草籠の展示等、園の歴史・伝統をしっかりと踏まえたイベントを展開している点は評価できる。 ・町人文化の発信基地として更なる取組に期待したい。 ・魅力の向上と発信において、利用者の満足度の向上まであと一歩であると感じられる。外国人の感性にも強いインパクトを与える施策の展開に期待する。 ・江戸情緒を四季の草花から感じるよう、種々のイベントを通じ、対応する姿勢は、評価できる。今後も、より魅力づくりに寄与するメニュー開発に期待したい。
75	清澄庭園	江東区清澄二・三丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・児童公園トイレ内の落書きが頻発した際には、区立図書館とも情報交換を行い、巡回を強化することで再発防止に努めた。 ・観光商談会において、海外旅行者を惹き付ける庭園の魅力や来園者数増加への改善点等について、海外の旅行エージェントとの意見交換を行った。 ・伝統技能見学会では文化財庭園の魅力を発信し、文化財の魅力を伝える意見交換を含めた外国人ツアーを開催するなど、国際的PRへの取組が評価できる。 ・庭園ガイドの回数増、英語でのガイドの導入、近隣学校との連携など、様々な取組が行われた。 ・江戸情緒を泉水、名石から感じるよう、種々のプログラムを通じ、対応する姿勢は評価できる。今後も、より魅力づくりに寄与するメニュー開発に期待したい。 ・富士山修景の取組を記録し、発信することを期待する。

76	旧古河庭園	北区西ヶ原一丁目	S	<ul style="list-style-type: none"> ・技能伝承研修によって、バラの維持管理に関する知識及び技術の向上・伝承を行い、グループ全体における維持管理の質を高め、伝統的維持管理技術の継承を図った。 ・心字池周辺について、高木の下枝処理等を行ったほか、池周辺のマツについても肥大化を防ぎつつ枝越しに池泉が望める樹形を維持した。池泉周辺の水景を適切に保存することで広がりのある景観を創出し、作庭意図を踏まえた管理を実現していることは評価に値する。 ・「春、秋のバラフェスティバル」イベント成功は花壇管理、事前広報などが一体となった成果であり、大変高く評価できる。 ・大正時代の洋館の魅力を引き立てるような、バラの植栽を含めた世界観を演出している様子はすばらしい。今後、2020年に向け、外国人対応にも力を入れて取り組まれない。
77	殿ヶ谷戸庭園	国分寺市南町二丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や外国人が多いことを考慮したトイレの改修、ベビーカーに配慮した段差の解消など、利用者の目線に立ったきめ細やかな維持補修を行っている点は、評価できる。 ・ガーデンコンサート、お茶会等様々な自主事業に積極的に取り組んでいる。特にお茶会は外国人でも対応できるよう英語版の案内を用意するなど外国人の参加者増を図っている。 ・国際交流の場の提供、社協等へのボランティア活動の働きかけ、利用者参加のかかる製作など、利用者層の拡大に取り組んだ。 ・職員応対満足度は高い水準にあるものの、苦情について対応が遅れた件が複数あった。 ・季節ごとに庭園が引き立つようなプログラム、イベントの対応はすばらしい。また、外国人旅行者への対策も実施しており、2020年に向け、更なるきめの細かいプログラム開発に期待する。
グループ全般				<ul style="list-style-type: none"> ・都立公園の中で最も顕著に指定管理の成果を上げたのは本グループであるといえる。「外国人利用者の受入れ」「庭園ガイド」「高質な庭園情報」「庭園技術・技能の継承と応用」といったハードルの高い要望にも真摯に対応している点は大いに評価できる。更なる研鑽、充実、発展を期待したい。 ・文化財保存管理計画に基づく補修、景観維持については、都建設局との情報共有の下、アドバイザーの提言を受け適切に実施するとともに、指定管理業務の範囲を超える事項についても、専門機関として積極的に提言し、文化財としての機能を高めることを望む。 ・2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、それぞれの持つ歴史的資産を有効に活用し、ホスピタリティ溢れる魅力的な文化庭園のブランド化を望む。 ・庭園の持つ特性や作庭意図に沿った適切な景観形成を図り、文化財の適切な維持管理を行うとともに、庭園技能伝承研修実施や庭園アドバイザー会議の設置等により高度な技術・技能の継承に着実に取り組んでいる。 ・歴史や伝統を発信するイベントの開催や、外国人向けのイベントを開催するなど文化財庭園の魅力発信についても積極的に取り組んでおり、施設の位置付けを踏まえた取組が適切に進められている。

平成26年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都立公園等）

○ 神代植物公園 （指定管理者：公益財団法人東京都公園協会 指定期間：平成23年4月～平成28年3月）

No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
78	神代植物公園	調布市深大寺元町二・五丁目、深大寺北町一・二丁目、深大寺南町四丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・他植物園と技術連携した小笠原植物の栽培展示や、高校との技術連携によるオガサワラシコウランやアサヒエビネの人工受粉及び無菌培養栽培を実施した。 ・食虫植物展やパラグアイオニバスに乗るイベントの開催等、子供向けのイベントを充実させ、新たな世代に向けた取組が成果を上げている。 ・Twitterを利用し、開花日数により色が変化する花の情報等をリアルタイムで発信したほか、積極的なプレス発表による新聞、テレビ等への露出により入園者増に寄与した。 ・ガイドボランティアによる公園のガイドツアーを行い、都民連携に取り組み、かつ利用促進にもつなげている。 ・協会の持つ高い技術力を発揮し、国内最大級の規模を有するサクラソウのコレクションの保存、拡充を図った。 ・バラのコレクションの維持と充実のため、接木を行っており、接木の成功率は高水準を維持している。 ・桜についても、接木により後継樹育成を行っている。 ・多摩地域の大規模救出活動拠点としての使命を正しく認識し、東京都と連携した訓練を行うほか協会独自の防災訓練を行っており、都の行政を積極的に補完しようとする姿勢の表れと評価できる。 ・東京都が提携したチリ国立植物園からの、チリ植物の受入れを調整した。 ・一部の事務処理に不適切な事例があった。事務処理手続の確実な実行を望む。 ・梅の特別企画展を開催したが、引き続き江戸園芸植物で企画展のシリーズ化を望みたい。

平成26年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都立公園等）

○ 潮風公園・台場公園（指定管理者：東京臨海副都心グループ 指定期間：平成23年4月～平成28年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
79	潮風公園	品川区東八潮 1・2番	A	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントルールの成文化は利用者にとって大変有益であり、評価できる。今後はこのルールを適正に運用していくことを望む。 ・イベント開催が多い中で安全管理や清掃を徹底し、大きな事故や苦情もなく管理運営を行っている。 ・周辺企業・団体と協働して環境美化活動を実施した。前年度と比べ参加団体、人数とも大幅に増加していることから、事業が着実に進展したといえる。 ・大学のジャズサークルを誘致して初めてフリーコンサートを開催した。新たな切り口の自主事業により公園のにぎわい創出につながるものと期待される。 ・2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けた連携事業、プログラムを今から準備開発されたい。特に民間、メディア等を巻き込むプログラムが望まれる。
80	台場公園	港区台場一丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・照度確保や死角の排除といった安全性の向上と美しい景観の演出を重視した樹木管理を行った。 ・お台場海浜公園と連携した環境美化活動は利用者の観点から評価できる。 ・国指定文化財（史跡）である本公園の歴史的資源を活用した史跡パネル展を実施し、公園の魅力を広くPRした。 ・歴史的な背景を持つ史跡もあるので、2020年に向け、外国人旅行者も意識したプログラム準備を望む。 ・外国人が台場設置の歴史を理解できるような情報の提供を望む。
グループ全般				<ul style="list-style-type: none"> ・利用案内、占用許可等の窓口の一本化、夜間巡回の一元化により利用者の利便性、安全性の向上が図られており、海上公園と一体的に自主事業を展開することで公園の魅力向上を図るなど、施設の位置付けを踏まえた適切な取組が進められている。 ・臨海副都心には公園、緑地、広場など管理者の異なる施設が多数存在するが、利用者の目線からは全て同一とみなされていることを念頭に置き、引き続き調整を行うことを期待する。 ・当公園グループの魅力をもっと強く、より広く訴えていくためには、お台場海浜公園をはじめとする海上公園との連携が欠かせない。公園間での連携、臨海副都心まちづくり協議会との連携によりイベントを充実させるなど、一層の発展を望む。 ・臨海副都心エリアの各所で行われているイベントとの役割分担や共同実施などについて、今後も検討されたい。 ・2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた連携事業やプログラムを、今から企画準備して欲しい。特に、民間、メディア等を巻き込むプログラムが望まれる。

平成26年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都立公園等）

○ 横網町公園 （指定管理者：公益財団法人東京都慰霊協会 指定期間：平成23年4月～平成28年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
81	横網町公園	墨田区横網二丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・慰霊堂耐震工事の実施に伴う、関係者との協議・調整に尽力し、参拝者の立場に立った改善申入れを行った結果、工事による影響を最小限に止めた。 ・收藏している資料の永久保存化の取組は高く評価できる。 ・慰霊堂及び復興記念館の施設管理と公園管理の一体的かつ効率的な管理運営が行われている。 ・日本庭園再生計画に基づく施設改善についても引き続き取り組み、来園者の満足度向上につなげていくことを期待する。 ・東京大空襲70周年記念事業の展開により、展示コーナーのリニューアルや、関係資料等のデータベース化の取組など、今後の継続が望まれる。 ・いくつかの積極的な試みは評価できる。これからも外部との協力を前提に新たなアイデアを検討されたい。特にデジタルアーカイブによる文書や写真の保存は長期的戦略の下で、検討されたい。 ・戦後70周年総括と今後に向けての東京及び日本、また自然災害における大規模地震の教訓と対策につながることの象徴的なメモリアル施設である。これからの若い世代、外国人の方々により多く関係してもらえる具体策に期待したい。

平成26年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都立公園等）

○ 東京臨海広域防災公園（指定管理者：西武造園㈱・㈱NHKアート共同体 指定期間：平成25年4月～平成28年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
82	東京臨海広域防災公園	江東区有明三丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「みんなで公園に花を咲かそうプロジェクト」の成果が年々着実に表れており、本公園の特色となりつつある。 ・ゆりかもめから見える花の魅力づくりなど、草花の充実により、公園景観が徐々に豊かになっている。 ・「ぼうさいモーターショー」を企画し多くの参加者を得たことは評価する。 ・子供向け防災イベントの新規導入など、防災学習機能の充実によく取り組んでいる。 ・基幹的広域防災拠点としてオープンスペースを保持する必要があること、国営公園部分と一体的な管理運営を行う必要があること等、制約がある中で、多数の花の植付け、防災モーターショーの開催など、創意工夫を凝らしながら公園としての魅力を高めるイベントを行う姿勢は、高く評価できる。 ・自主事業として、防災意識啓発につながる防災レジャーシートを配布するなど公園利用の促進に取り組んでいることは評価できる。 ・大規模地震災害発生時は公園全体が広域的な指令機能を持つヘッドクォーターとなり、平常時には防災に関する学習・訓練・情報発信などの拠点として機能する基幹的な広域防災拠点であり、隣接の国営公園と一体的な管理運営を行っている。 ・今後は、東京、日本を代表する広域防災公園としての機能を持ちながら、防災公園の代表的なプログラムを開発されたい。

平成26年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都立公園等）

○ 東京都動物園（指定管理者：公益財団法人東京動物園協会 指定期間：平成18年4月～平成28年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
83	恩賜上野動物園	台東区上野公園	S	<ul style="list-style-type: none"> ・閑散期の集客対策として、冬にしか見られない動物の生態についてのリーフレット作成、ブログコンテスト等魅力向上に努めた結果、入園者数が大幅に増加した。また、パンダの台座やゾウの遊具等の展示提案を行い、動物の行動レパトリーを増やした。 ・空港電飾看板へ出稿、インターネットの動画配信による広告等、新たな入園者の開拓を行った。 ・動物展示方法の工夫や、「VisitほっとZooキャンペーン」等により、来園者を20万人以上増加させた点は評価できる。ゴリラ来園60周年記念講演会や、近隣の博物館・美術館との連携も確立されている。 ・飼育技術を向上させるため、積極的に海外の先進的な知見・技術を取り入れている。 ・希少種の繁殖においても、高度な飼育技術の継承と、新たな技術を確立している。26年度はサビトマトガエルの繁殖に国内動物園で初めて繁殖に成功したほか、ニシゴリラの群れ飼育下による子育て、姉妹で遊ぶ様子等を来園者に見せるなど、動物の生態や行動が観察できる魅力的な展示に向けた取組を行っている。 ・毎年、世界動物園水族館協会や保全繁殖専門家グループの年次総会などへ職員へ派遣し、国際的な種保存計画へ参画している。 ・国立科学博物館などとの協働プログラムや観光を意識した地域連携などに注力することを期待する。 ・国内唯一のゴリラの群れ展示など、動物園のリーダーとして更なる先進的な取組を期待したい。
84	多摩動物公園	日野市程久保六・七丁目、南平八丁目	S	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども向け継続参加型体験プログラム「たまZOOクラブ」を実施し、動物に対する興味を喚起した。また、ボランティアとの協働による園内でのホテル観察会や、小学校との連携によるイモリの保全調査活動など、環境学習、保全教育を推進した。 ・サマーナイト開園のCMや参加型体験プログラムの充実により、認知度アップを図ったことは評価できる。 ・飼育技術を向上させるため、積極的に海外の先進的な知見・技術を取り入れている。上野同様、ゾウの準間接飼育法の導入へ取組を進めている。 ・希少種の繁殖においても、高度な飼育技術の継承と、新たな技術を確立している。継続的な繁殖に成功しており、26年度はオランウータン、レッサーパンダ、マレーバクなどの繁殖に成功している。 ・環境省が進めるトキ保護増殖事業に基づき、分散飼育を受入れ、7年連続で繁殖に成功している。 ・野生生物保護センターを中心として4園だけでなく外部機関と連携しながら、希少動物種において生息域内及び生息域外の保全活動を展開している。 ・アムールトラの生態観察、ニホンコウノトリ孵化、トキの保護、オランウータン、レッサーパンダ等の繁殖にもリーダーシップを感じる。今後も、内外の動物園との連携に、より期待する。 ・雑木林の更新作業で発生したコナラ等からノートなどを作り、緑の新たな循環に取り組む事業はさらなるアピールを期待する。 ・ライオンバス運行50周年、コアラ来園30周年などのイベントを精力的に開催し、園の魅力の発信に努めた。「たまZOOクラブ」は意欲的な取組として評価できるので、今後は開催規模の拡大を期待する。

85	葛西臨海水族園	江戸川区臨海町六丁目	S	<ul style="list-style-type: none"> ・移動水族園車のお披露目イベント及び病院での試行を実施し、来園できない児童への環境教育を行った。本事業の導入は利用形態の拡大に向け、大いに評価できる。 ・東京都の総合防災部と連携し、発災時における施設の使用制限の想定事例Q&Aを作成するなど訓練の事前調整を行い、危機管理対策を行った。当日は他3園も参加し、新型インフルエンザ対策の実地訓練を初めて実施してプレス対応等を行い、新型インフルエンザ対策に関する普及啓発活動に寄与した。 ・様々な展示プログラム開発などの努力は、評価できる。 ・大人のガイドツアーなどイベントに積極的に取り組み、魅力向上に努めている。 ・Twitterでのつぶやきや、25周年記念チケットデザイン公募など、広報にも積極的に取り組んでおり、評価できる。 ・国内の水族館ではほぼ行われていない海外での生物収集に継続的に取り組んでいる。 ・これまで培ってきた採集・運搬技術や飼育技術の継承と新たな技術の確立で、チリやカナダでの生物採集を行い、展示生物の充実を図っている。 ・技術面に優れるだけでなく、普段目にするのでできない稚魚の展示や魅力あるイベントの実施等により新たな来園者層を開拓するなど水族園の魅力向上に努めている。 ・移動水族館車によるアウトリーチを開始するなど、教育普及活動の充実に取り組んでいる。 ・大きな話題となったマグロの大量死については、原因究明を確実にすることを期待する。
86	井の頭自然文化園	武蔵野市御殿山一丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・動物の特徴を観察する親子プログラムを新たに実施した。また「どうぶつのなまえ博覧会」を開催し、動物の名前の面白さや奥深さを伝えた。 ・アムールヤマネコの人工繁殖、フェネック舎の展示改善などの成果は高く評価できる。 ・これまで培ってきたイラスト等を含めた地道な分かりやすい広報活動は、良き組織風土のなされる業ともいえ、高く評価でき、結果として小さな施設ながら継続的に多くの利用者呼び込む源泉にもなっている。 ・新規の展示がないにもかかわらず、過去20年で最大の入園者数を記録したことは大いに評価できる。 ・日本獣医生命科学大学と基本協定を締結し、希少野生動物の人工授精等の技術開発に取り組んでおり、ツシマヤマネコの人工授精に向け、精子を採取するなど、繁殖技術の向上にも積極的な姿勢が見られる。 ・飼育技術を向上させるため、積極的に海外の先進的な知見・技術を取り入れている。 ・希少種のツシマヤマネコの人工繁殖技術確立を中心とした飼育下繁殖の取組を行っており、継続的に技術の継承、向上を図っている。 ・他の動物園に比べ、やや地味な感じが否めないため、ツシマヤマネコ含めた目玉開発が強く望まれる。
グループ全般				<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に広報活動に取り組んでいる。 ・来園者数増のための園の魅力の向上と、野生生物の保全とそれらについての普及啓発という役割を、専門家集団として適切に果たしている。 ・4園が連携して、魅力的な展示ができるよう人・技術の交流を図り、継続的な技術向上を図っている。 ・指定管理に当たり掲げられた「野生生物保全」「楽しみながら学べる園の実現」「経営感覚を持った運営」は期間終盤を迎え、外的停滞要因や試行錯誤もありながら着実に実現してきているという実感を持つ。今後もスタッフの高質なモチベーション維持を図り、管理運営を進めていくことを望む。 ・東京都の公園に留まらず、日本を代表する動物園なので、2020年に向けて、更なるオリジナルメニュー及びプログラム開発を連携しながら推進し、内外の動物園のモデルとなることを期待する。 ・長い歴史の中で積み重ねられた施設運営のノウハウを、適切に生かしている。特に、希少動物の保護・繁殖の技術は大変高い水準にあり、世界的にも注目されている。積極的な広報戦略も評価に値する。動物園には教育・普及啓発、種の保存、レクリエーション機能など、多様な役割が求められるため、グループ全体の総合力を生かし、より良い動物園づくりに引き続き邁進することを期待する。

平成26年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都立公園等）

○ 東京都霊園（指定管理者：公益財団法人東京都公園協会 指定期間：平成23年4月～平成28年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
87	多磨霊園	府中市多磨町四丁目、小金井市前原町一丁目	S	<ul style="list-style-type: none"> ・園北側都道の歩道沿いにおける植栽の剪定を広範囲に渡って実施し、倒木・枝折れ等による危険性の軽減に努めた。 ・地元中学校の総合学習に協力して霊園の歴史や霊園に眠る著名人の紹介を行ったほか、職場体験の受入れも行うなど、地域に親しまれる霊園づくりを行った。他の霊園にも検討してほしい良い事例として高く評価できる。 ・地元警察・消防・町内会等との防災訓練の共同実施や、園内碎石舗装の石材店との共同実施など、地域と緊密かつ良好な関係を構築できている点は高く評価できる。 ・都立霊園の中では、一番の大きさを誇る森林墓地としてのポテンシャルをより生かし、独自メニューも様々に開発することを望む。
88	八柱霊園	千葉県松戸市田中新田、紙敷、松飛台、河原塚、日暮	S	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ飛散防止のため、散乱が多い下げ花置き場にネットを設置し、計画的に墓参り環境の向上を進めている。 ・園内樹木の品種・分布を自主的に調査し、サクラについては樹木管理方針を策定するなど、景観や安全性も考慮して計画的に維持管理を行っており、樹木管理について意欲的な取組を行った点は評価できる。 ・近隣の石材組合と協力して粗大ごみ等の回収作業を実施したほか、地元の中学校や高校とクリーンキャンペーンを行うなど、地域との良好な関係の構築と静謐な霊園環境の確保を同時に進めていることは高く評価できる。 ・庭園のような環境も魅力であり、よりそのポテンシャルを活用されたい。
89	小平霊園	小平市美園町三丁目、東村山市萩山町一丁目、五丁目、東久留米市谷柳窪三丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・霊園外周の高木について、剪定と林床部の整理を行った。また、雑木林の外周部に繁茂していた灌木を刈り込み、明るく静謐な環境を創出した。 ・新規開設墓地に関する多数の視察、取材に対応し、施設内容、利用方法等の周知を図ったことは評価できる。 ・小型芝生墓地の設計協議において、都側との意思疎通に不十分な点があった。今後の取組に期待する。
90	八王子霊園	八王子市元八王子町三丁目、川町	A	<ul style="list-style-type: none"> ・獣害防止と環境整備を兼ねた竹林間伐で発生した竹材を園内において有効利用していることは評価できる。 ・冬季の安全管理や、トイレ前に滑り止め塗装を施すなど、きめ細かな管理を行っている点は、評価できる。 ・繁忙期の事務所の早朝開放、線香の火だね、日陰を作る工夫、竹を有効活用した竹炭など、細かな工夫を重ね、来園者へのサービス向上に努めていることは大いに評価できる。 ・八王子霊園周辺には、歴史的史跡もあるので、八王子の魅力を生かした、周辺以外の来園者向けプログラムの展開に期待する。
91	青山霊園	港区南青山二・四丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレに季節の花を生ける等、墓参りの方が気持ちよく利用できるような細かい配慮が見られる。また、建仁寺垣の設置、管理所への季節の花の設置なども、利用者の快適性を増す取組として評価できる。 ・近隣小学校の昆虫観察会を受け入れて職員による植物等の説明を行うなど、地域連携に積極的に取り組んでいる。 ・「霊園おさんぽマップ」や、テーマ型の著名人パンフレット第二弾「水と衛生編」を発行するなどして、利用者到大変喜ばれている。 ・過去にパワーカート使用時の事故が複数回発生しているにもかかわらず、同様の事故が発生した。リスク・アセスメントを行い、安全管理を徹底することが望まれる。 ・多くの偉人が眠る日本を代表する名門霊園なので、その方々の文化、歴史を学ぶ機会の創出に期待する。その一環での「霊園おさんぽマップ」、著名人パンフレットの制作は、評価できる。今後外国人観光客向け情報発信とガイドを更に充実されたい。

92	谷中霊園	台東区谷中七丁目、上野桜木二丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・花見規制の趣旨を巡回により丁寧に説明した結果、宴会の喧騒やゴミの散乱等がなくなり、墓参りの方や近隣から好評を得ている。 ・第3立体埋蔵施設の南側一角に鉄砲塚を設置して霊園にふさわしい環境の創出を行うとともに、納骨用出入口の目隠しにも効果を発揮した。 ・遊具の撤去に当たり、施設の利用状況の把握及び事前周知が不足していた結果、苦情が発生し、処理に時間を要した。 ・多くの偉人が眠る日本を代表する名門霊園なので、その方々の文化、歴史を学ぶ機会の創出に期待する。近隣施設とも連携し、今後、外国人観光客向け情報発信とガイドを更に充実されたい。
93	雑司ヶ谷霊園	豊島区南池袋四丁目	S	<ul style="list-style-type: none"> ・一時収蔵施設の遺骨保管棚に落下防止のロープを設置し、事故の未然防止と安全確保を図った。 ・管理事務所裏の庭園をリニューアルすることで霊園らしい落ち着いた雰囲気演出するとともに、発生材を利用して空き墓所に金閣寺垣を施し、趣のある休憩スペースを創出した。 ・未舗装園路の改良を青山霊園で不要になった敷石を利用して行ったことは、グループ力を生かした、創意に富む試みとして評価できる。 ・鉄道会社と折衝を重ねることで、最寄駅の出口表示案内への霊園の名称掲載を実現させ、来園者の利便性向上に寄与した。 ・「緑を守る会」との連携による樹木管理、学校等との連携による美化活動など、地域との連携も着実に進められている。
94	染井霊園	豊島区駒込五・七丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度に空き墓所対策として設置した竹垣の和風休憩所について、防草シートや砂利の敷設、枯山水風の小さな庭の制作等、工夫を凝らして改良に努めた。 ・段差についてのバリアフリー化の取組は高齢の墓参りの方が増える中、評価できる。 ・近隣小学校の職場見学を受け入れて地域に親しまれる霊園づくりに努めたほか、避難訓練にも協力して地域の防災への取組に貢献した。 ・番地表示柱の設置、側溝へのグレーチング設置、トイレ美化など、利用者の利便向上につながる維持管理を着実に実施している。
グループ全般				<ul style="list-style-type: none"> ・都の供給計画に基づく公募、霊園再生や新形式墓地の整備など、都の政策との連動性が極めて高い中で、霊園管理システムの運用など施設管理運営に取り組んでいる。 ・個人情報保護の徹底、8霊園一体とした統一的なサービスの提供が図られるなど、施設の特徴を踏まえた適切な管理運営が行われている。 ・霊園において静謐な環境を維持するために欠くことのできない背景の樹林・樹木環境の整備は各園ともに良好な成果を上げている。 ・繁忙期における本社からの応援、区部4霊園での共同作業など、グループ体制のメリットを生かした効率的な管理が行われている。 ・各霊園とも、下げ花置き場や段差の解消など、地道な工夫を重ねており、評価できる。 ・霊園マップの充実、配布、彼岸期間の防犯、安全対策、正月の墓参り要望への対応等、全霊園で適切な対応がなされている。 ・今後は利用者に対するきめ細かいホスピタリティの表現が利用者満足度に表れると思われる。こうした観点を踏まえて利用者に喜ばれる管理運営を目指されたい。 ・公園の中での伝統的霊園として、大事な役割を果たしてきた。今後は、その基本機能に加え、2020年に向け、文化・歴史、ツーリズムの分野で、具体的なプログラム及び情報発信に更なる努力を期待する。

平成26年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都立公園等）

○ 瑞江葬儀所 （指定管理者：公益財団法人東京都公園協会 指定期間：平成26年4月～平成28年3月）				
	施設名	所在地	総合評価	評価内容
95	瑞江葬儀所	江戸川区春江町三丁目26番1号	S	<ul style="list-style-type: none"> ・火葬休業日を利用してサービス職員全員で施設の隅々まで清掃を行うなど、清楚で厳粛な空間保持が高いレベルで行われている。 ・老朽化、破損した設備を丁寧に補修・修繕し、安全面に配慮しながら適切に施設維持管理を行っていることは、大いに評価できる。 ・溶接技術を備えた職員による応急対応など、迅速な修繕を実施している。 ・全職員が火葬業務を行えるようにするBCP訓練は、責任感・使命感に裏付けられた意欲的な取組である。 ・近隣斎場の休業に伴い、地域の火葬ニーズに的確に対応するため、周辺町会や葬儀社との連携を密に行い、質の高いサービスの提供を図った。 ・都からの要請に応えた火葬枠の拡大をスムーズに行っている。事前に周知等を入念に行い、苦情等も発生していない。高い使命感をもって適切に対応した点を評価したい。 ・老朽施設に対し、現場のノウハウで適切に管理がなされ、かつ行政対応で困難な業務をやり遂げた点は評価できる。今後は、時代の変遷に即して、庭園地域の植栽全体のイメージの変更を検討されたい。